

まちづくり協議会の活動紹介

地域の課題や魅力は、地域に住んでいる人が一番よく知っています。そこで、高浜市では、それぞれの地域の特性をふまえながら、地域にとって一番ふさわしい方法で課題を解決していただき、元気で活力に満ちたまちづくりを推進するために「地域内分権」を進めてきました。その取組み内容や効果などをご紹介します。

みんなで守ろう!地域の資源と伝統文化



子ども菊人形制作

吉浜まちづくり協議会では、「菊1本でまちづくり」と銘打って、子どもたちや地域住民と、菊の栽培から吉浜伝統の文化である菊人形づくりなどを通して、異世代交流、伝統文化の継承、地域の活性化に力を入れています。菊人形に対して、子どものころから関心を持ってもらうため、秋に行われる菊まつりでは、園児や小学生によって作られた子ども菊人形を展示しています。

高取まちづくり協議会では、地域の散歩コースにもなっている稗田川を、黄色の彼岸花でいっぱいにして、昨年度より球根を植えています。以前は、子どもたちの遊び場であった稗田川を、もう1度たくさんの方が集まり、愛される川にしようと、彼岸花以外にも、花を植えたり、草刈りを行い、地域の人たちの手で、ゴミのない、きれいな川を目指して、取り組んでいます。



稗田川 彼岸花植栽



大山緑地 千本桜ライトアップ



大山緑地 大たぬき清掃

高浜小学校区にある大山緑地には、「千本桜」として有名なたくさんの桜や、高さが5mもある大たぬきの像があります。高浜まちづくり協議会では、このきれいな桜をずっと残していきたいと、地域の人による里親制度を設け、桜の木の植樹や手入れ、公園の清掃などを行っています。また、大たぬきの像も、愛着を持って、自分たちの手できれいにしていこうと、地域の子どもから大人までが参加して、きれいに磨きました。



このほかにも、高浜市にはたくさん「まちの自慢」があります。みんなが、お祭りやイベントに積極的に参加して盛り上げたり、愛着や誇りをもって大事にしていくことで、高浜市の自慢を守り、残していきたい! 